

●調査レポート

埼玉県内主要産業動向調査(産業天気図)－2014年10～12月期－

調査対象：県内企業 573 社

調査方法：アンケート方式 (11月上旬 郵送回収)

回答企業：266 社(回答率 46.4%)

業種別内訳：製造業 156 社 非製造業 110 社

概況

今回の産業天気図は、個人消費や住宅投資の反動減が長引くほか、急激な物価上昇に伴う実質賃金の低下、円安等に伴う原材料等のコスト増を背景に、一部で晴れ間はのぞくものの、引き続き雨が残る状態となっている。

製造業では、円安等に伴う原材料等価格の上昇により収益が圧迫され、**金属製品**は「曇り」へ、**一般機械器具**と**飲・食料品**は「曇り一部雨」へいずれも後退している。一方、**精密機械**は医療機器等の受注拡大や事務機器が回復傾向にあり「晴れ一部曇り」へ好転し、**化学・プラスチック・ゴム製品**は医薬品や食品容器などの受注改善が寄与し「曇り」へ持ち直している。

非製造業では、天気の変化した業種はなかったが、**住宅建設**では反動減が長引き低調に推移し、**小売**も反動減からの回復遅れや台風の影響などから、消費者の節約意識が高まり停滞している。

先行きについては、晴れ間はわずかとなり、雲におおわれた天気が続く見通しである。

製造業では、**一般機械器具**は、排ガス規制強化に対応した買い替え需要が順調な建設機械や、需要が上向き基調にある半導体製造装置が寄与し「曇り」へ持ち直す一方、**金属製品**が住宅建設資材や農業用機械部品の需要減少などから、「曇り一部雨」へ更に後退する見通しである。

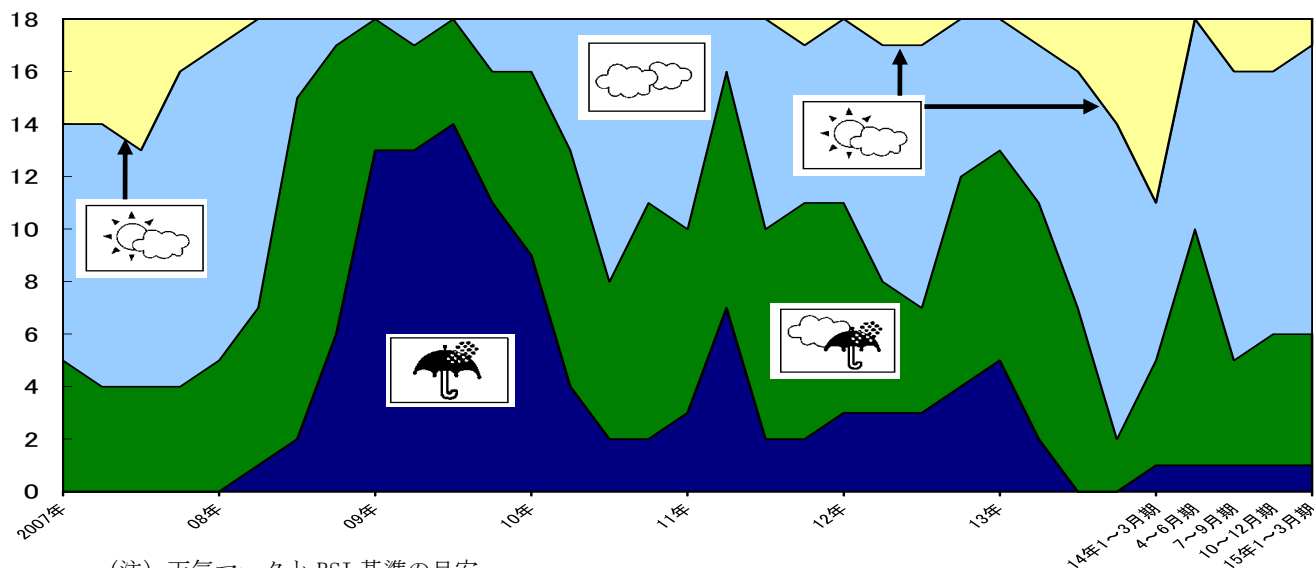
また、非製造業では、**一般建設**は、公共工事の増加一服、建設資材価格や人件費上昇などから「曇り」へ後退する見通しである。

天気図別の業種数

区分	晴	晴れ一部曇り	曇り	曇り一部雨	雨
2014年 7～9月期(前回)	0	2	11	4	1
2014年 10～12月期(今回)	0	2	10	5	1
2015年 1～3月期(先行き)	0	1	11	5	1

産業天気図

(業種数)



(注) 天気マークと BSI 基準の目安

天気マーク	晴	晴れ一部曇り	曇り	曇り一部雨	雨
BSI	100 以下～50 以上	50 未満～20 以上	20 未満～-20 超	-20 以下～-50 超	-50 以下～-100 以上